

石上
真由子

2024年

12月11日(水)

開場 18:30/開演 19:00

入場料:会員4,500円(座席指定可)/
一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

Mayuko
& Moeko
Duo

©Takafumi Ueno

ベートーヴェン Vol. 2 〈狂喜と狂気〉
10のヴァイオリンとピアノのためのソナタの秘密



ベートーヴェン×邦人作曲家
新境地を開くM & M デュオの挑戦

江崎
萌子



Shibuya
Mitake
Salon

123
Shibuya Mitake Salon (vol.170)

ベートーヴェン: ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第2番 イ長調 Op.12-2

プロコフィエフ: ヴァイオリン・ソナタ第1番 ヘ短調 Op.80

清水昭夫: 狂詩曲 ~ ヴァイオリンとピアノのための ~

他

*安心を得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。



ベートーヴェン Vol.2 〈狂喜と狂気〉

10のヴァイオリンとピアノのためのソナタの秘密

2024年
12月11日(水)
開場 18:30/開演 19:00
入場料:会員4,500円(座席指定可)/
一般5,000円/
学生2,500円(全席自由席)



ベートーヴェン × 邦人作曲家 新境地を開くM & Mデュオの挑戦

石上真由子氏と江崎萌子氏によるM & Mデュオによるベートーヴェン全曲演奏シリーズが、ついにそのベールを脱いだ。

本シリーズは、「ベートーヴェン × 邦人作品」という斬新な組み合わせを通じて、作曲家の革新性を深く探求する試みである。

ベートーヴェンのソナタは各回1曲を中心に、邦人作品やさまざまな時代の作曲家との組み合わせで、作品の共通項や対比を描いていく。

以前、彼女たちは「ベートーヴェンのヴァイオリンソナタは、一曲一曲が大きなドラマを秘めているため、他の作品と組み合わせても存在感が薄れるということはない」と断言していた。

その言葉は"シリーズもの"としての固定概念(全曲ベートーヴェンにすべき…等)に凝り固まったわたしたちの心に突き刺さり、新たな可能性に胸が高鳴った。

歴史的に見ても、ベートーヴェンは商業音楽と非商業音楽(芸術音楽)の分岐点となり、クラシック音楽の経緯が大きく革新してしまったといえるほど、重要人物なのは周知の事実だ。

一方、邦人作曲家たちは、西洋音楽の伝統を継承しつつ、独自の音楽言語を確立してきた。

彼らの作品からは、西洋と東洋の文化が交錯する中で生まれた新しい音楽表現に対する、何か強い意志が感じられる。

彼らの意思は、ベートーヴェンのその"革新性"に通ずるものがある。

第1回〈世俗と神秘〉では、プログラム全体がまるで一つの作品のように美しく、コントラストの鮮やかさに心奪われた。

ベートーヴェンのソナタ第1番では、若き偉才の躍動感あふれる音楽が、まるで爽やかな草原のような情景へと誘い込んだ。

最初の一曲目だったが、すでに会場はフィナーレかアンコールのような熱気に包まれていた。

後半のシマノフスキや武満徹の作品では、ガラッと空気が変わった。

聴き手の心を深淵へと引き込み、時間の流れすら忘れてしまうような、神秘的で濃密な印象を残した。

さらに驚くべきは二人の息の合った演奏だ、深く信頼しているからこそ生まれる一体感が、まるでソウルメイト。

二人は互いを最高のパートナーと認め、まるで「同じ血が通っている者同士で音楽作りをしているようだ」と自負するほどだ。

理知的で清々しく、凜とした音楽は、何か二人が身に纏う空気に似たものを感じる。

第2回〈狂喜と狂気〉ではベートーヴェンのソナタ第2番を中心に展開される。第1番同様、古典的な美と若き日のベートーヴェンの薫りを感じられるだろう。

対するプロコフィエフのソナタ第1番。

自身が突如現る32分音符のヴァイオリンを「墓場を抜ける風」と表現したことで有名な作品だが、エッジの効いた曲調に引き込まれる。

20世紀の時代背景までが詰まったこのヴァイオリンソナタは、室内楽作品として無視できない存在感を放っている。

そして清水昭夫(現・洗足学園音楽大学 音楽学部長補佐等)の狂詩曲 ヴァイオリンとピアノのための――。

独特の日本的な響きと新しい音楽表現で、実験的要素が詰まった作品。

おそらく初めて生演奏で聴く人がほとんどではないだろうか。

現代を生きる作曲家の作品を、このシリーズで取り上げることの尊さを感じられることだろう。

まさに"革新性"にフォーカスした本シリーズにふさわしい内容で、新たに展開されるドラマがすでに待ち遠しい。(渋谷美竹サロン)

Vol.1 世俗と神秘 (2024年9月24日(火))

ベートーヴェン: ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番 二長調 Op.12-1

シューベルト: ソナチネ 二長調 D.384 Op.137

シマノフスキ: ヴァイオリンとピアノのための3つの詩曲「神話」Op.30

武満徹: 妖精の距離

Vol.2 狂喜と狂気 (2024年12月11日(水))

ベートーヴェン: ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第2番 一長調 Op.12-2

プロコフィエフ: ヴァイオリン・ソナタ第1番 短調 Op.80

清水昭夫: 狂詩曲 ~ ヴァイオリンとピアノのための ~ 他

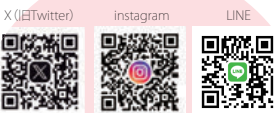


世界に通用する才能溢れる
トップアーティストが
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしぐ
生演奏の醍醐味、
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

渋谷美竹サロン(美竹清花さろん)が追求する
“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分

大好評につき
サロンメンバーズ
追加募集中!



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188



公式Webサイト

